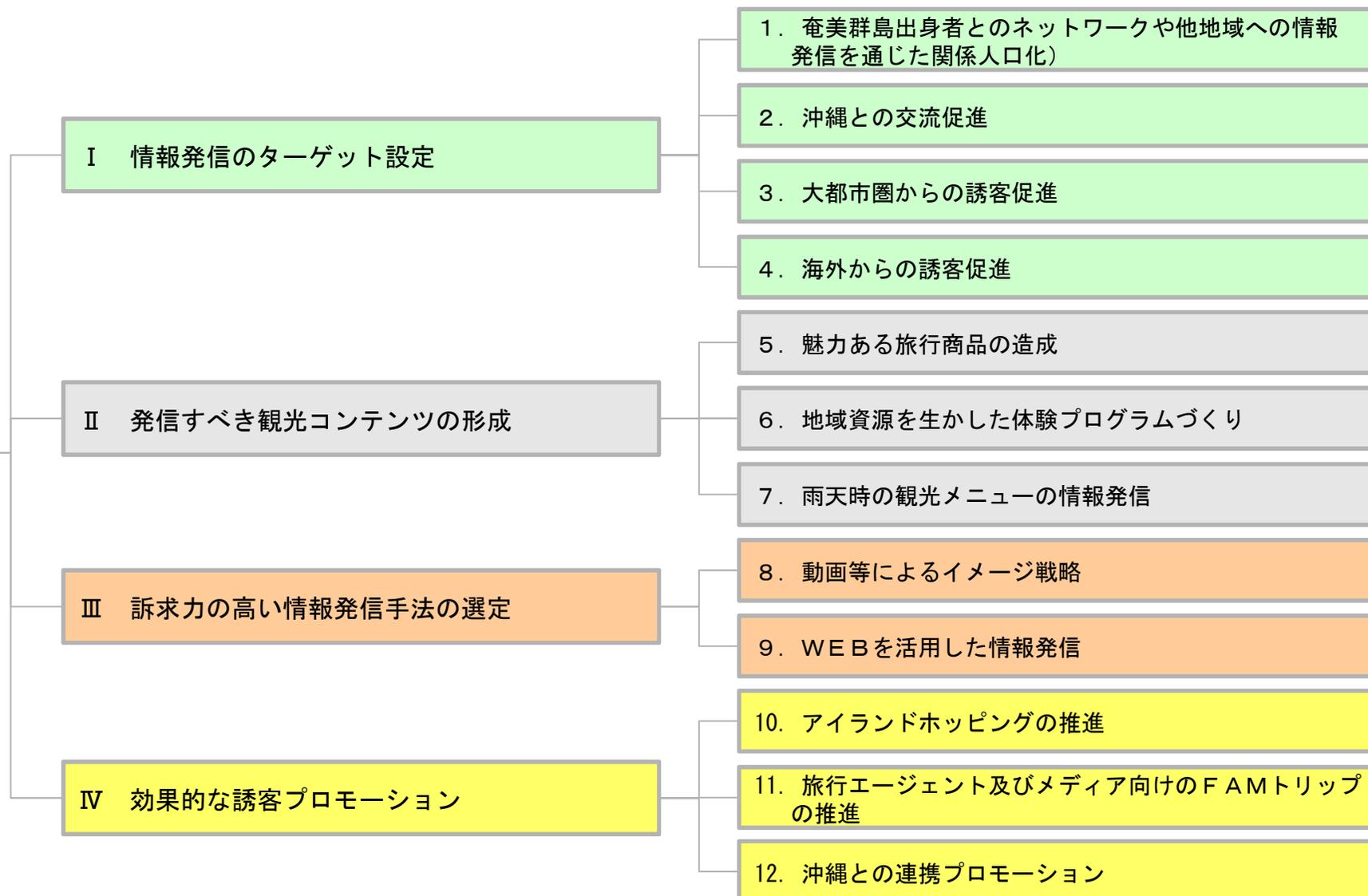


戦略的な情報発信に関するロードマップ

- 戦略的な情報発信WGにおいて検討を行い、今後5年間で取り組むべき事項を提言として取りまとめ。
- 各項目の実施体制や進捗評価のための指標について、更なる検討・調整を進める必要がある。

戦略的な情報発信



ロードマップ案（戦略的な情報発信）

地域：（奄美）群島、奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島

番号	中項目	小項目とその目標、水準	地域	実施主体	個別の事業・取組	年度ごとの実施工程				
						2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	それ 以降
I	情報発信の ターゲット 設定	1. 奄美群島出身者とのネットワークや他地域への情報発信を通じた関係人口化								
		目 標	関係人口の増加を図るため、奄美群島出身者とのネットワークを維持・強化するとともに、奄美に関心を持つ層の掘り起こしと関係人口化に向けた働きかけ等の取組を推進する。							
		今後5年間で到達すべき水準	奄美出身者のUターン拡大を図る施策を講じるとともに、郷友会等の協力を得ながら関係人口の増加に向けたイベント開催等の取組を実施する。							
		現在の取組状況	奄美大島	奄美市	奄美ふるさと100人応援団事業 ・奄美出身者や奄美にゆかりのある方々が郷土振興の応援団として、癒しのシマ奄美のイメージアップや奄美ファンの拡大を目指す。	→				
				あまみんちゅ結事業 ・全国組織・奄美会との連携及び地域間交流の強化、総会等のイベント参加し、地元奄美から物産・芸能・観光情報等の提供、奄美の魅力をPRする。	→					
		今後5年間にに向けた提言	奄美の島唄、郷土芸能等の文化を首都圏等で積極的にPRするとともに、地元の情報についてニュースを集約するサイトを構築し、情報を発信する。関係人口の増加に向け、Iターン者には仕事とセットで案内するなど工夫をし、また、島別に域外からの高校生離島留学を促進し、将来の人材を確保する。 施策の徹底的な効果検証を定量化できる施策展開を実施する。関係人口が拡大した状態を、認知度、来訪意向度、来訪経験、推奨意向の各段階に応じた中間指標で、進捗を管理するような科学的マーケティングを実践する。							

番号	中項目	小項目とその目標、水準	地域	実施主体	個別の事業・取組	年度ごとの実施工程						
						2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	それ以降		
I	情報発信のターゲット設定	2. 沖縄との交流促進										
		目標	沖縄との間で連携交流の強化を図り、沖縄をゲートウェイとして観光客を奄美群島へ呼び込むという観点から、沖縄へ来訪する観光客をターゲットに位置づける。									
		今後5年間で到達すべき水準	「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」世界自然遺産登録に向けた動きを契機として、沖縄へ来訪する観光客を奄美群島へ呼び込むための情報発信等を推進する。									
		現在の取組状況	群島	航路・航空路運賃軽減協議会	奄美・沖縄連携交流促進事業<奄振交付金> ・調和ある振興のために、移動コストを軽減し、両地域の交流を促進。両地域の周遊ルート造成し、首都圏でのイベントへの共同出展(ツーリズムEXPO、アイランダー等)、PRツール制作(パンフレット等)、PR動画作成、周遊モデルルート策定及びメディアを活用した情報発信を行う。 【目標 奄美・沖縄航路航空路線年間利用者数(令和5年度:64千人[航路]、78千人[航空路])】							
			与論島	与論町	ヨロン戦略的交流促進事業<奄振交付金> ・与論島で使える商品券を沖縄などの旅行者に付与する。 【目標 与論島への年間入込客数(令和5年度:90,000人)】							
今後5年間に向けた提言	沖縄の来訪者に向けて奄美のキャンペーンを実施するほか、奄美の情報発信をプッシュ型で発信し、キャッシュレスと連動させる等、様々な手法での情報発信を検討する。 沖縄からの入込客数についての指標を明確化し、ターゲットユーザーの認知度、来訪意向度、経験度、推奨度の各段階の進捗を数値に基づき毎月管理する科学的マーケティングを実践する。											

番号	中項目	小項目とその目標、水準	地域	実施主体	個別の事業・取組	年度ごとの実施工程					
						2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	それ以降	
I	情報発信のターゲット設定	3. 大都市圏からの誘客促進									
		目 標	大都市圏に向けた戦略的なプロモーション、リピーターの確保に向けた取組を推進する。								
		今後5年間で到達すべき水準	大都市圏をターゲットとした誘客プロモーションを多角的に実施することとし、団体客のみならず個人客もターゲットとしたデジタルマーケティングの取組を推進する。								
		現在の取組状況	群島	鹿児島県	国内誘客プロモーション事業 ・観光需要を的確に把握して、趣味や関心事などの違いに応じた情報発信を行うとともに、増加する個人客へ効果的なプロモーションを実施する。	→					
					観光かごしま大キャンペーン推進事業 ・オール鹿児島で、首都圏や関西圏、北部九州地域などをターゲットとして、積極的な誘客対策や効果的な広報宣伝を展開する。	→					
				航路・航空路運賃軽減協議会	奄美群島交流需要喚起対策特別事業<奄振交付金> ・首都圏等において交流需要喚起に資する広報宣伝等の取組を実施する。 【目標 航路・航空路の対象路線（※）年間利用者数（令和5年度：450千人[航路]、151千人[航空路]）】	→					
			奄美大島	あまみ大島観光物産連盟	観光拠点連携情報発信事業<奄振交付金> ・着地型観光メニューのブラッシュアップ事業、交流人口動態調査、WEBサイト機能（SNS発信、あまみっけ記事作成等）を強化する。 【目標 交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度（令和3年度：68%）】	→					
				奄美市	観光交流活性化事業 ・「奄美デー」の開催、友好都市との交流に資するイベント等の参加、航空チャーター機、クルーズ船誘致活動に必要な活動等を実施する。	→					
徳之島	徳之島3町	徳之島三町地域おこし協力隊員と民間企業によるフリーペーパー作成 ・地域おこし協力隊員と民間企業が連携し、フリーペーパーを作成・発行し、徳之島全体の活性化を図る。	→								
今後5年間に向けた提言	教育旅行者向けに、サステナブル・ツーリズムの考え方を教材に使用する等、学習コンテンツを充実する。また、ターゲットユーザの認知、来訪意向、経験、推薦の各段階の進捗を管理する等の科学的マーケティングを実践し、観光統計データに関してはオープン化と解析結果の共有を図る。										

番号	中項目	小項目とその目標、水準	地域	実施主体	個別の事業・取組	年度ごとの実施工程							
						2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	それ 以降			
I	情報発信の ターゲット 設定	4. 海外からの誘客促進											
		目 標	海外に向けた戦略的なプロモーションに向けて、ターゲットとする国・地域を明確化する。										
		今後5年間で到達すべき水準	海外に向けた戦略的なプロモーションに向けて、奄美群島内の各DMOにおいてターゲットとする国・地域を選定し、動画等を活用したデジタルマーケティングの取組を推進する。また、一面的なターゲティングだけではなく、One to One マーケティングの取組も推進する。										
		現在の取組状況	与論島	与論町	ヨロン島来訪機会創出事業<奄振交付金> ・デジタルマーケティングによる情報分析を行い、ターゲット層の明確化を図り、魅力ある旅行商品造成による観光客の増加を図る。 【目標 与論島への年間入込客数（令和5年度：90,000人）】								
今後5年間に向けた提言	各DMOにおいて観光情報発信のターゲットとする海外市場を設定する一方、国ごと地域ごとという一面的なターゲティングからOne to One マーケティングも検討する。 海外からの入込客数についての指標を明確化し、ターゲットユーザーの認知度、来訪意向度、経験度、推奨度の各段階の進捗を数値に基づき毎月管理する科学的マーケティングを実践する。												

番号	中項目	小項目とその目標、水準	地域	実施主体	個別の事業・取組	年度ごとの実施工程					
						2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	それ 以降	
II	発信すべき 観光コンテ ンツの形成	5. 魅力ある旅行商品の造成									
		目 標	奄美群島の地域特性を生かした魅力ある旅行商品の充実を図る。								
		今後5年間で到達すべき水準	地域特性を生かした地場産業との連携等を通じて、奄美らしさを体感できる質の高い観光スタイルの構築を図るなど、魅力ある旅行商品の造成に向けた取組を推進する。								
		現在の取組状況	奄美大島	奄美市	奄美らしい観光スタイル構築推進事業<奄振交付金> ・キャッシュレス対応や多言語化などのインバウンド受入体制強化や奄美らしい民泊に関する調査等を実施。【目標 交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度（令和3年度：68%）】	→					
					奄美満喫ツアー助成事業（奄美大島5市町村連携事業） ・旅行会社や学校、イベント、個人観光客等に助成し、交流人口の拡大につなげる。（①旅行商品造成、②バス等ツアー、③イベント・コンベンション、④学生スポーツゼミ合宿、⑤学校研修旅行、⑥ウェディング、⑦体験プログラム）	→					
			沖永良部島	知名町	知名町遺産巡りツアー事業<奄振交付金> ・先人の知恵・生きる術などを体験できるツアーを実施し、奄美らしい滞在型・着地型観光の推進を図る。【目標 ①年間入込客数（令和3年度：100,000人）②遺産めぐりツアーガイドの育成数（令和3年度：3人）】	→					
与論島	与論町		ヨロン島ウェルネスプログラム商品造成事業<奄振交付金> ・ヨガインストラクターや飲食店、地域おこし協力隊等を巻き込み、体験プログラム・旅行商品造成や実施ガイドの人材育成及び受入体制の構築を図る。【目標 メニュー開発数（令和5年度：10件）】	→							
今後5年間に向けた提言	旅行商品のカテゴリ別一覧の作成、コンテンツの充実を図るとともに、メニュー毎の販売状況をオンライン上でリアルタイム分析し、年間を通じた商品開発を行う。また、自然保護と観光客誘客を両立できるコンテンツの開発と旅行者へ事前に学習させる仕組みを構築する。										

番号	中項目	小項目とその目標、水準	地域	実施主体	個別の事業・取組	年度ごとの実施工程						
						2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	それ 以降		
II	発信すべき 観光コンテ ンツの形成	6. 地域資源を生かした体験プログラムづくり										
		目 標	奄美群島の豊かな自然や景観、文化等の地域資源を最大限に活用した体験型観光を推進する。									
		今後5年間で到達すべき水準	集落（シマ）のポテンシャルを生かしながら、奄美群島の豊かな自然や景観に加え、島唄や各種祭り等に代表される多様で個性的な伝統文化、独自の食文化等の地域資源に身近に触れることのできる体験プログラムづくりを推進する。									
		現在の取組状況	群島	奄美群島広域 事務組合	奄美群島エコツーリズム推進事業<奄振交付金> ・エコツーリズムの推進に資する人材の質的向上と量的確保、及び地域連携体制の強化を図る。【目標 ガイド者数（令和5年度：160人）】							
				鹿児島県	世界自然遺産 奄美トレイルの推進 ・奄美群島固有の自然と文化への理解を促進し、島から島へと人を誘導し、群島全体の振興に資する。令和3年度までに全線開通予定。							
			奄美大島	大和村	大和村まるごと体験事業<奄振交付金> ・集落をフィールドとした島暮らし体験や島人との交流を軸とした取組に対し支援を実施。【目標 受入人数（令和5年度：384人）】							
			喜界島	喜界町	奄美・トカラ連携喜界馬復活・活用プロジェクト<奄振交付金> ・十島村と連携し喜界馬を復活させ、観光や郷土教育での活用を推進し、地域活性化を図る。【目標 ①郷土教育学習の開催（5年度末までに5回）、②喜界島への年間入込客数（令和5年度：70,000人）】							
世界ジオパークに向けた奄美群島連携事業<奄振交付金> ・喜界島サンゴ礁科学研究所と連携し、ジオパーク認定に向けた取組を実施。【目標 ①ジオガイド育成数（令和5年度：35人）②講演会の受講者数（令和5年度：450人）】												
与論島	与論町	よろんスポーツ交流活性化事業<奄振交付金> ・ヨロンマラソンの開催準備等を行うボランティア体験モニターツアー等を実施する。【目標 年間ボランティア活動者数（令和5年度：40人）】										
今後5年間に向けた提言	自然体験しながら環境学習できるコンテンツを開発することで、地域の文化・自然を保護しながら、観光客誘客を進める。あわせて、地域でのスムーズな受入に資するよう、旅行者の事前学習を促す仕組みを構築する。											

番号	中項目	小項目とその目標、水準	地域	実施主体	個別の事業・取組	年度ごとの実施工程							
						2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	それ 以降			
II	発信すべき 観光コンテ ンツの形成	7. 雨天時の観光メニューの情報発信											
		目 標	雨天時には自然や景観を活用した屋外でのアクティビティが困難となることから、観光客が雨天でも楽しめる代替メニューの開発・情報発信を行う。										
		今後5年間で到達すべき水準	雨天でも楽しめる屋内での観光メニューの開発を進めるとともに、こうした情報を観光客に提供するための体制を構築する。										
		現在の取組状況	奄美大島	宇検村	宇検村体験観光多目的交流施設整備事業 ・幅広い屋内外体験活動プログラムの構築により滞在型の観光客を誘致、宿泊施設の稼働率の増加を図る。交流の機会を創出し、交流人口の拡大。啓蒙活動やイベントを実施。体験観光の案内を主に行う。								
今後5年間に向けた提言	教会巡りツアー、AR/VR等を活用したプラン等の雨天時メニューを開発するとともに、こうしたアクティビティの情報を一元的に集め、Web上で発信する。また、アンケートを実施し、ニーズの把握に努め商品へ反映する。												

番号	中項目	小項目とその目標、水準	地域	実施主体	個別の事業・取組	年度ごとの実施工程					
						2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	それ以降	
8. 動画等によるイメージ戦略											
		目 標	デジタルマーケティングにおける中心的な素材として、奄美の魅力を生かした訴求力の高い動画等の活用を図るほか、旅行情報誌等の媒体による奄美の魅力発信を図る。								
		今後5年間で到達すべき水準	動画等の活用に当たっては、圧倒的なリーチ量で海外にも個人にも届くデジタルマーケティングの一環として取り組むことを目指す。そのほか、奄美群島への来訪の動機付けとなる特集号発行などによる情報発信を実施する。								
III	訴求力の高い情報発信手法の選定	現在の取組状況	奄美大島	奄美大島5市町村	シマウェディングPR動画作成業務（奄美大島5市町村連携事業） ・奄美満喫ツアー助成事業の中で、ウェディングへの助成を実施。	→					
			徳之島	天城町	KKBふるさとCM大賞への参加 ・KKB（鹿児島放送）のふるさとCM大賞に応募し、魅力発信に努める。	→					
					地域おこし協力隊によるYouTubeでの情報発信 ・AYT（天城町ユイの里テレビ）の地域おこし協力隊員が撮影・編集した動画をYouTubeにて配信し、魅力を発信する。	→					
			与論島	与論町	ヨロン島来訪機会創出事業＜奄振交付金＞ ・島内の映像クリエイター等と連携して動画を制作、デジタルマーケティングによる情報分析を行い、ターゲット層の明確化を図り、魅力ある旅行商品造成による観光客の増加を図る。【目標 年間入込客数（令和5年度：年間90,000人）】	→					
		今後5年間に向けた提言	来訪者に環境への配慮を促すための環境学習のコンテンツを作成するとともに、その利用者へのインセンティブ付与を検討し、利用の促進を図る。また、動画作成に関しては、デジタルファーストの方針のもと、Webサイトを作るだけにとどまらず、実際に国内外からサイト誘導を実施し、その効果を同時に測定する。作る：届ける：測定する＝3：6：1の割合を目安とした仕様書の作成と事業の実践を行う。与論町の成功事例を横展開する。 また、奄美群島全体のプラットフォームとなるポータルサイトにおいて動画と連携して更なる集客を図る。								

番号	中項目	小項目とその目標、水準	地域	実施主体	個別の事業・取組	年度ごとの実施工程					
						2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	それ 以降	
III	訴求力の高い情報発信手法の選定	9. WEBを活用した情報発信									
		目 標	スマートフォンが主要な情報媒体となっている現状も踏まえ、WEBコンテンツの充実による観光情報の発信を強化する。								
		今後5年間で到達すべき水準	WEBでの情報発信に当たっては、その効果測定を通じて改善を行う仕組みの導入を図る。								
		現在の取組状況	奄美大島	あまみ大島観光物産連盟	観光拠点連携情報発信事業<奄振交付金> ・奄美群島の各観光拠点について、連携したPR・情報発信を実施し、観光客の周遊を図る。【目標 奄美群島全体における入込客数（令和5年に年間950,000人以上）】	→					
				奄美市	インターネットにおける自然・観光情報等の発信 ・奄美市ホームページにおける観光・移住・自然環境のPR、奄美市のCM作成し、インターネットで公開する。	→					
後5年間にに向けた提言	<p>サイト構築にはスマートフォンサイトも前提とするほか、コンテンツの効果検証を実施できるようなデジタル人材の育成も行う。また、デジタルファーストの方針のもと、Webサイトを作るだけにとどまらず、実際に国内外にからサイト誘導を実施し、その効果を同時に測定する。作る：届ける：測定する＝3：6：1の割合を目安とした仕様書の作成と事業の実践を行う。与論町の成功事例を横展開する。</p> <p>また、統一ハッシュタグのウェブサイトおよびポスターへの活用により観光客へのリーチを高めるとともに、Web上の地図に飲食店等の情報登録を推進し、観光客の利便性の向上と集客を図る。</p>										

番号	中項目	小項目とその目標、水準	地域	実施主体	個別の事業・取組	年度ごとの実施工程							
						2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	それ 以降			
IV	効果的な誘客プロモーション	10. アイランドホッピングの推進											
		目 標	世界自然遺産及びその候補地をつなぐアイランドホッピングルートの定着を図る。										
		今後5年間で到達すべき水準	「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」世界自然遺産登録に向けた動きを契機として、屋久島や沖縄等とのアイランドホッピングについて利用者数の増加に向けた取組を推進する。										
		現在の取組状況	群島	鹿児島県	奄美群島アイランドホッピング促進事業 ・協議会の開催や旅行商談会におけるプロモーションを継続して実施。体験型観光を促進するため、2島以上の体験プログラム参加者に宿泊費を助成する。								
今後5年間に向けた提言	世界遺産を活用したルート等のコンテンツを開発するほか、地域ポイント等でインセンティブを付与する仕組みを検討する。また、アイランドホッピングの旅の魅力をWeb上で発信し、認知拡大、実践意欲度、経験度、推奨度の各指標の推移を毎月把握、改善する。												

番号	中項目	小項目とその目標、水準	地域	実施主体	個別の事業・取組	年度ごとの実施工程					
						2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	それ 以降	
IV	効果的な誘客プロモーション	1 1. 旅行エージェント及びメディア向けのFAMトリップの推進									
		目 標	FAMトリップの実施等により、大都市圏や海外からの誘客促進に向けた取組を推進する。								
		今後5年間で到達すべき水準	教育旅行の誘致も念頭に置きつつ、海外だけでなく国内向けのFAMトリップを実施するなど、大都市圏や海外に向けたプロモーションを推進する。								
		現在の取組状況	群島	鹿児島県	海外誘客ステップアップ事業 ・海外セールスや現地でのプロモーションなど各種インバウンド対策を官民一体となって戦略的に展開。	→					
				奄美群島広域事務組合	奄美群島観光物産広域連携事業<奄振交付金> ・一般消費者への旅行喚起、旅行商品造成活性化、物産面のブランディングで観光来訪を促進する。【目標 年間観光客数（令和5年度：386,251人）】	→					
今後5年間に向けた提言	FAMトリップの対象を、国内向けやOTA(オンライン専門旅行会社)等とし、協力度により優先付けをする。また、教育旅行を誘致する方策として、SDGsの考えに沿ってサステナブルツーリズムの考え方を学べるFAMトリップなどを関西・首都圏の教員向けに実施する。										

番号	中項目	小項目とその目標、水準	地域	実施主体	個別の事業・取組	年度ごとの実施工程						
						2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	それ 以降		
IV	効果的な誘客プロモーション	12. 奄美・沖縄との連携プロモーション										
		目 標	沖縄との間で連携交流の強化を図り、沖縄をゲートウェイとして観光客を奄美群島へ呼び込むための取組を推進する。									
		今後5年間で到達すべき水準	「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」世界自然遺産登録に向けた動きを契機として、沖縄と連携した誘客プロモーション等の観光キャンペーンの更なる充実に取り組む。									
		現在の取組状況	沖永良部島	和泊町	北山文化圏ロード構築事業<奄振交付金> ・北山文化圏（今帰仁村）と観光協会を交えた連携・交流を促進し、地元デザイナー等を活用したプロモーション素材の制作。【目標 沖縄県から和泊町への年間入込客数（令和3年度：15,710人）】							
			与論島	与論町	与論町・国頭村連携遺産ロード構築事業<奄振交付金> ・ヨロン島観光協会が、北部地域と旅行商品の造成やプロモーションの実施、国頭村と連携して広域観光イベントの開催等を行う。沖縄本部港～与論～奄美各島の観光ルートの構築。【目標 年間入込客数（令和5年度：年間90,000人）】							
今後5年間に向けた提言	ターゲットユーザーの認知度、来訪意向度、経験度、推奨度の各段階の進捗を数値に基づき毎月管理する科学的マーケティングを実践し、沖縄側とのデジタル施策上の連携を行う。また、沖縄・奄美の自然遺産登録をきっかけに、環境配慮を意識した共同プロモーションを沖縄本島も含めて実施する。											